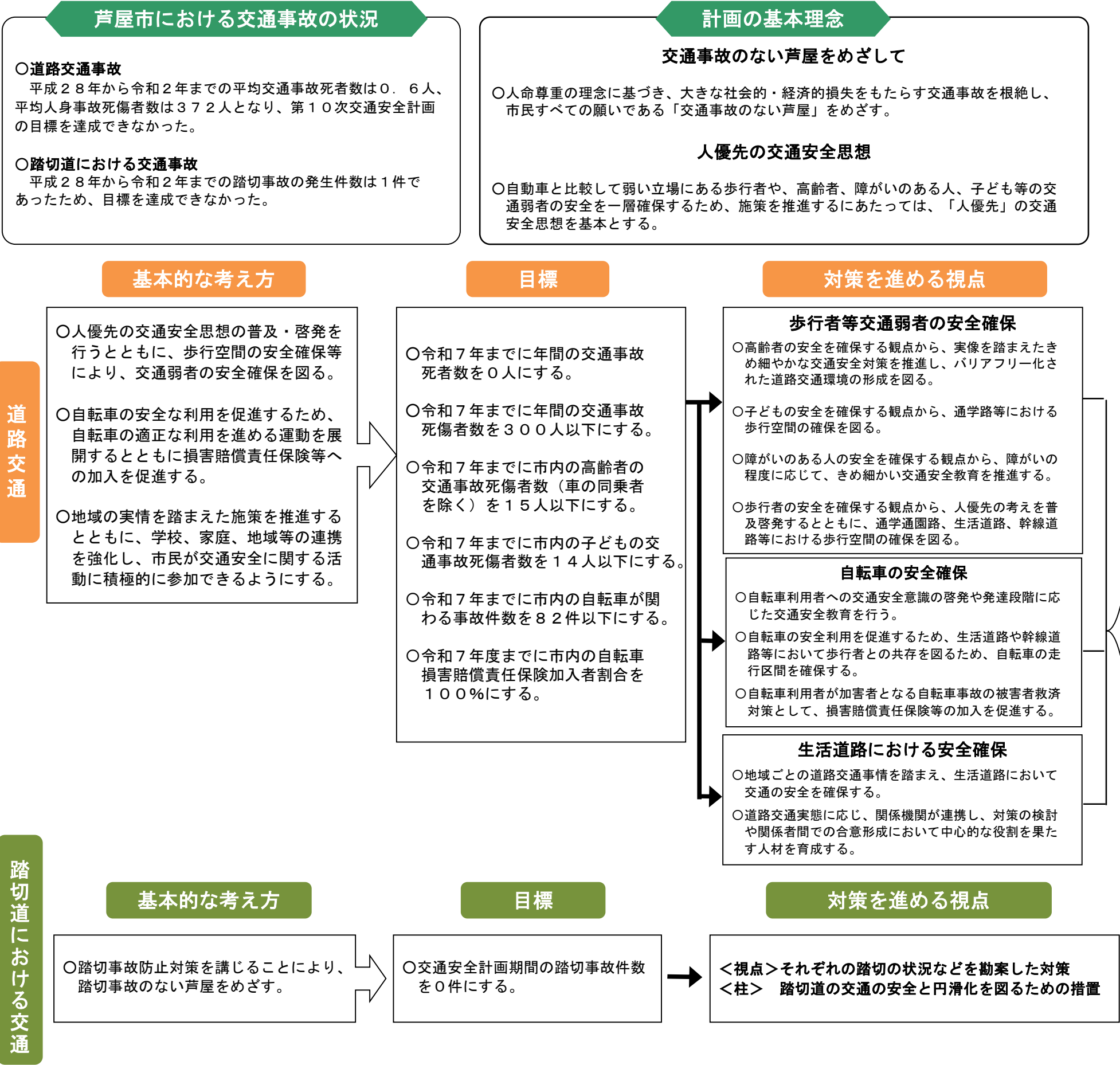


第10次芦屋市交通安全計画（改定）概要版



芦屋市における交通事故の状況

○道路交通事故

平成28年から令和2年までの平均交通事故死者数は0.6人、平均人身事故死傷者数は372人となり、第10次交通安全計画の目標を達成できなかった。

○踏切道における交通事故

平成28年から令和2年までの踏切事故の発生件数は1件であったため、目標を達成できなかった。

計画の基本理念

交通事故のない芦屋をめざして

○人命尊重の理念に基づき、大きな社会的・経済的損失をもたらす交通事故を根絶し、市民すべての願いである「交通事故のない芦屋」をめざす。

人優先の交通安全思想

○自動車と比較して弱い立場にある歩行者や、高齢者、障がいのある人、子ども等の交通弱者の安全を一層確保するため、施策を推進するにあたっては、「人優先」の交通安全思想を基本とする。

7つの柱－重点施策

(1) 交通弱者対策の充実

- 地域における見守りを通じた生活に密着した交通安全活動の推進
- 高齢者の事故発生状況に応じた交通安全教育・啓発の実施
- 地域の特徴に応じた子どもの交通安全教育の実施
- 障がいの程度に応じた交通安全教育の実施
- 通学通園路等における歩行空間の確保
- 「あんしん歩行エリア」の形成等による交通安全対策の推進
- 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進
- 横断歩道合図（アイズ）運動推進

(2) 自転車対策の推進

- 子どもの発達段階に応じた自転車マナー啓発活動の推進
- 自転車利用者への交通ルールの周知と安全教育の推進
- 自転車損害賠償責任保険の加入促進
- 自転車運転免許証等を発行する自転車交通安全教室の推進
- 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進
- 夕暮れ時の早めのライト点灯・反射材の普及

(3) 道路交通環境の整備

- 生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備
- 通学通園路などの歩行空間の整備の推進
- 交通安全施設等の整備事業の推進
- 電線類の地中化の推進
- 自転車ネットワーク計画に基づく安全で快適な自転車走行環境整備の推進
- 違法駐車対策の推進
- 災害に備えた道路交通環境の整備

(4) 交通安全思想の普及徹底

- 参加・体験・実践型の交通安全教育、普及啓発活動の推進
- 高齢者に対する交通安全教育の推進
- 自転車の安全利用の推進
- 後部座席などにおけるシートベルト着用の推進
- 反射材用品等の普及、利用促進
- 飲酒運転根絶に向けた規範意識の確立
- 交通の安全に関する民間団体などの主体的活動の推進
- 市民の参画・協働の推進

(5) 道路交通秩序の維持

- 悪質性、危険性、迷惑性の高い違反に重点を置いた取締りの強化など
- 自転車利用者に対する指導取締りの推進
- 暴走族対策の強化

(6) 救助・救急活動の充実

- 自動体外式除細動器（AED：Automated External Defibrillator）の使用も含めた心肺蘇生などの応急手当の普及啓発活動の推進
- 救急医療体制の整備
- 県消防防災ヘリコプター活用による救助・救急業務の推進

(7) データ分析に基づくきめ細かな対策の推進

- データ等を活用した分析の具体化